

高レベル 放射性廃棄物って？

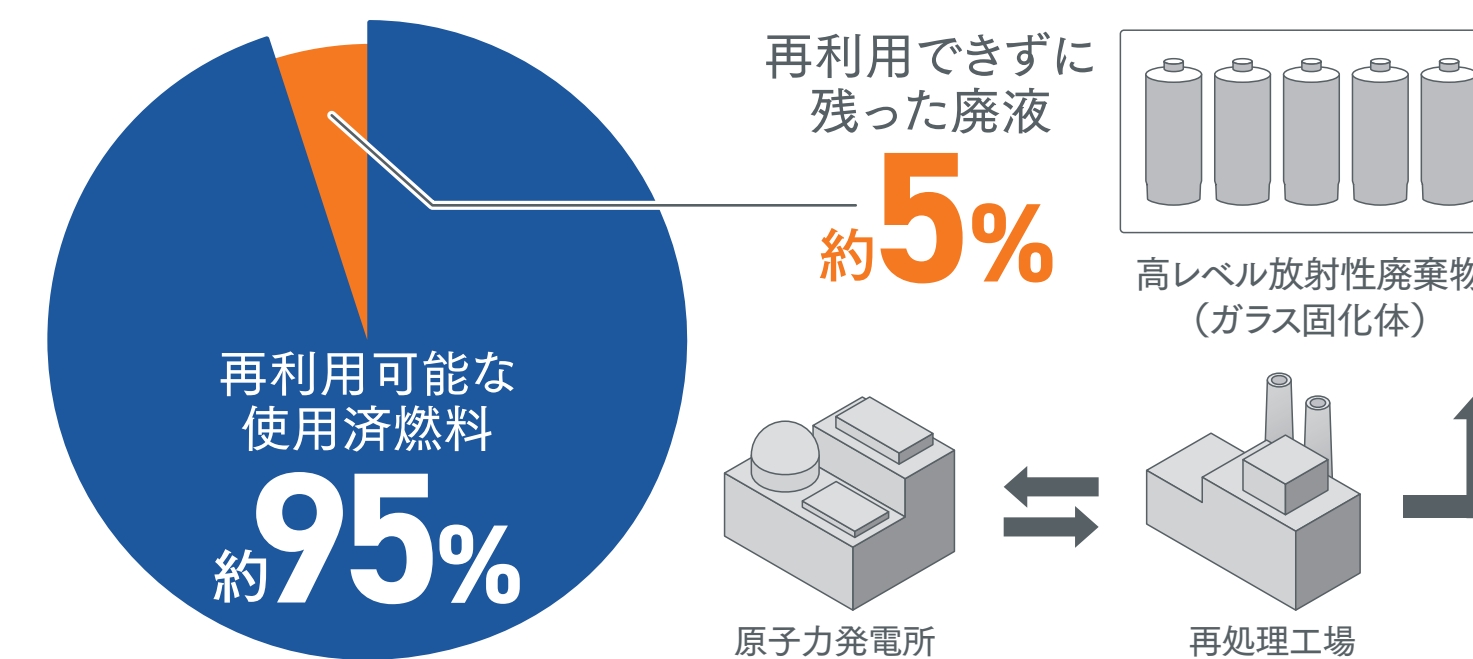
地層処分

これまでの原子力発電の利用で生まれた「高レベル放射性廃棄物」。各国が自国内で「地層処分」することが、国際的な共通認識です。処分場所選定を先送りせず、社会全体で考える必要があります。

私たちの暮らしと

「高レベル放射性廃棄物」のつながり

原子力発電で生じた使用済燃料は、約95%が再利用可能なものです。再利用できない残り約5%の廃液をガラスと混ぜて「ガラス固化体」にします。これが「高レベル放射性廃棄物」です。日本では現在、「ガラス



固化体」に換算して約27,000本分※の廃棄物が存在しています。私たちが日常生活で使用する電気の一部は、原子力発電によるもの。つまり、「高レベル放射性廃棄物」は私たちの暮らしに関わるエネルギーから生まれています。

みんなで考えたい、「地層処分」のこと

電気を使う私たちにとって、廃棄物の処分「地層処分」は一緒に考える必要のある大切なテーマです。NUMOでは、「地層処分」について全国各地で皆さまと共に考える機会を設け、対話を重ねています。ぜひ皆さま一人ひとりのご意見をお聞かせください。

日本中で考えよう。地層処分のこと。



※2025年3月末時点

#地層処分わたしの考え

原子力発電環境整備機構 (NUMO)
<https://www.numo.or.jp/> NUMO

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。また、歩きスマホはご遠慮ください。
優先席付近では、混雑時には、携帯電話・スマートフォンの電源をお切りください。

なぜ日本中で
考える必要があるの？

地層処分

これまでの原子力発電の利用で生まれた「高レベル放射性廃棄物」。各国が自国内で「地層処分」することが、国際的な共通認識です。処分場所選定を先送りせず、社会全体で考える必要があります。

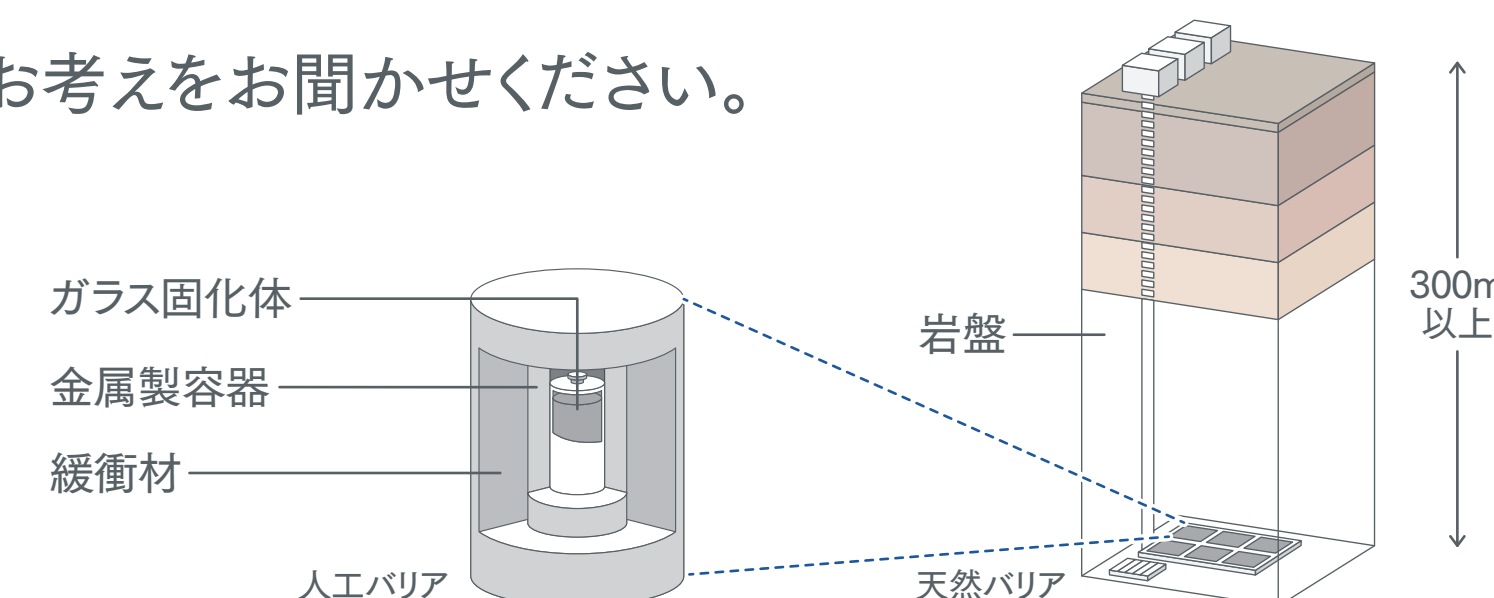
「高レベル放射性廃棄物」の より安全な処分のために

原子力発電所で使用した燃料から生じる「高レベル放射性廃棄物」を、地下300メートルより深い安定した岩盤に安全に埋設する処分方法—これが「地層処分」です。安全を最優先に適地を選定するには、複数の地域で、科学的根拠に基づいた調査が不可欠です。これは一部の地域だけの問題ではなく、国全体で取り組むべき課題です。

今ある廃棄物の処分について、 将来世代に負担を残さないために

私たちは日常生活で電気を使用しています。その一部は

原子力発電によるもの。日本ではすでに、「高レベル放射性廃棄物」が「ガラス固化体」に換算して約27,000本分※存在しています。電気を使う私たちにとって、廃棄物の処分「地層処分」は、一緒に考える必要のある大切なテーマです。NUMOは、全国各地で皆さまと対話を重ねながら、様々な声に耳を傾ける活動を続けています。将来世代に負担を残さないために、皆さま一人ひとりの
お考えをお聞かせください。



日本中で考えよう。地層処分のこと。



※2025年3月末時点

#地層処分わたしの考え

原子力発電環境整備機構 (NUMO)
<https://www.numo.or.jp/> NUMO

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。また、歩きスマホはご遠慮ください。
優先席付近では、混雑時には、携帯電話・スマートフォンの電源をお切りください。